国際ロータリー第2560地区　新井妙高ロータリークラブ　週報　2026-27

出席報告 54.05 %（ 20/37 名）
前々例会訂正出席率　55.26%

会長　安原裕也　幹事　相浦孝行
広報･雑誌･会報･HP 委員会
須田英樹　東條邦昭

Rotary Club of Arai Myoko

10月 21 日
通算第 3148 回
本年度第 11 回例



会長挨拶

まずもって本日は、妙高赤倉ハウス株式会社 代表取締役の山内佳奈子様、お越しいただき誠にありがとうございます。後ほどの卓話もよろしくお願いいたします。

さて本日は、いよいよ稲刈りが無事に終了いたしましたので、そのご報告をさせていただきます。先週の土曜日までに、今年度の自社分80町歩に加え、個人のお客様12件からの稲刈り依頼をすべて完了することができました。ありがとうございました。

今年は圃場の状態が非常に悪く、ぬかるんで乾かない状態が続きました。そのため、個人の小さなコンバインでは刈り取りが困難だったことから、多くのご相談をいただきました。一番遠方では中郷方面からのご依頼もありましたが、移動コスト等の理由でお断りせざるを得ず、近隣の皆様のお手伝いを優先しながら作業を進めてまいりました。

作業が終わり一息つきたいところですが、来春に向けた準備として早くも明日、苗が1，500体入荷いたします。全圃場へのまき作業が始まりますので、次回の夜間例会の頃には、私から香ばしい（肥料の）香りが漂っているかもしれません。

また私事ですが、体調面で少し検査が必要となり、11月に病院を受診する予定です。医師からは1週間ほどの検査入院を提案されましたが、ロータリーの活動や業務に支障が出ないよう日取りを調整してまいります。

これから私の大好きなゴルフシーズンが開幕いたしますので、体に気をつけながら頑張っていきたいと思います。暑い時期が過ぎ、涼しくなってまいりましたので、会員の皆様もぜひ「健康ゴルフ」でしっかり歩き、体を鍛えていただければと思います。本日もよろしくお願いいたします。

お客様

妙高赤倉ハウス株式会社 代表取締役　山内佳奈子様

本日のお食事

ムーンベア様



幹事報告

・登録状況の確認〔 回　覧 〕

〔 メイクアップ、委員会等出席者 〕

・10/18（日）新井妙高ローターアクトクラブ清掃＆BBQ に　横尾さん参加

2026-27 年度 国際ロータリー会長メッセージ次
持続可能なインパクトを生み出そう
RI 会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ

CREATE LASTING IMPACT

2026-27 年度 地区目標
ロータリーで人生を充実させよう
第２５６０地区ガバナー　富山　洋
第７分区ガバナー補佐　小川 幸喜

ニコニコＢＯＸ

横山（明）さん
我が家の子どもがゴルフの大会で健闘し、『全国 JGGA 大会』への出場、および高校ゴルフ連盟の関東決勝大会への進出が決定いたしました。皆様のご声援にお礼申し上げますとともに、次に向けて引き続き頑張ってまいります。」



プログラム

妙高赤倉ハウス株式会社 代表取締役　山内佳奈子 様

「住んでわかった妙高の魅力と可能性　～宿泊事業から描く地域の未来～」

プロフィール
理学療法士として東京都内の病院の経験を経て、
富裕層むけのパーソナルトレーニングに約 13 年間に従事。
2024 年 6 月、妙高赤倉ハウス株式会社（旧 妙高ハウス）を設立し
代表取締役に就任。妙高市に移住し、長野・新潟両県で約 30 棟の
宿泊施設の運営・管理受託や不動産事業に取り組んでいる。





山内佳奈子様は自身の事業の未来に向けて奔走される非常にエネルギッシュな方です。

実際に妙高へ移住し、日々事業を営む中で、この土地が持つポテンシャルの高さを肌で感じているという山内様。地元の方にとっては日常である清らかな水や満天の星空などは、世界に誇る圧倒的な観光資源であると語ります。一方で、インフラの老朽化をはじめとする地方の現実にも直面し、「末端である地方から本気で地域を再生し、外貨を呼び込んで経済を循環させなければならない」という強い危機感を抱いたといいます。



現在は約 30 棟の宿泊施設運営に携わっていますが、将来的には 100 棟規模へと拡大させ、自社の発信力を武器に雇用と納税を生み出し、地域社会へしっかりと利益を還元していきたいとのこと。「観光業を通じて妙高の未来を切り拓くことが自身の使命である」と語るその力強い言葉に、会場の誰もが大きくうなずき、これからの地域活性化への確かな希望を感じる時間となりました。

大変貴重なお話をありがとうございました。